

北海道高等聾学校
Hokkaido high school for the Deaf

2023
学校説明会
本科のしおり

普通科 普通科重複学級 クリーニング科 産業技術科 生活情報科



この冊子の表紙は北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科がデザイン・DTPを行いました。
Copyright 2021 Hokkaido high school for the Deaf



目 次

page

1. 入学案内	1～3
2. 各学科について	
(1) 普 通 科	4
(2) 普通科重複学級	4
(3) クリーニング科	5
(4) 産業技術科	5～6
(5) 生活情報科	6～7
3. 生徒会の活動と部活動	7～8
4. 卒業生の進路状況	8
5. 奨学金について	9
6. 参考資料	10～22
令和5年度 入学生の所要経費一覧表	
令和5年度 年間行事予定表	

1. 入学案内

令和6年度の募集要項は、令和5年12月頃に北海道教育委員会公報で発表されますので、発表後ご案内します。下記の内容は昨年度のもので、ご参考にしてください。

1. 募集人員等

普通科	第1学年	14人（うち重複障害学級6人）
クリーニング科	第1学年	8人
生活情報科	第1学年	8人
産業技術科	第1学年	8人

※本校への出願に当たっては、本校に設置されている学科のうちから最大第4志望までを選択し、出願することができる。（入学願書には第3希望まで記入すること）

2. 出願資格

学校教育法（昭和22年法律第26号）第82条において準用する同法第57条の規定に基づき次のいずれかに該当する者で、かつ、聴覚障害者であること。

- （1）特別支援学校の中学部又は中学校を卒業した者（令和5年（2023年）3月末日までに卒業見込みの者を含む。）
- （2）中等教育学校の前期課程を修了した者（令和5年（2023年）3月末日までに中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者を含む。）
- （3）外国において、学校教育における9年の課程を修了した者
- （4）文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和5年（2023年）3月末日までに当該施設の当該課程を修了する見込みの者を含む。）
- （5）文部科学大臣の指定した者
- （6）就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- （7）北海道高等聾学校校長が、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3. 出願手続

（1）出願者の手続

出願者は、次の書類を、現に在学している、又は卒業した特別支援学校又は中学校等の校長（以下「在学等校長」という。）を経由して、北海道高等聾学校校長（以下「出願先の校長」という。）に提出すること。

なお、出願に必要な書類の請求は、直接出願先の校長に対して行うこと。郵送を希望する場合は、郵送料は請求者の負担とするが、請求部数や出願先の校長が定める書類により郵送料が異なるので、あらかじめ確認の上、所要額の切手を送付すること。

ア. 入学願書

イ. 写真

令和4年（2022年）10月1日以降において、上半身を正面から撮影した写真（縦4cm、横3cm）を、出願先の校長が定める様式にはり付けること。

ウ. 健康診断書（本校所定の用紙）

エ. 個人調査書（本校所定の用紙。又は、同封した白紙に、道教委 Web ページにアップロードされる予定の公立高等学校入学者選抜用「個人調査書の様式」のファイルを活用して、印刷したもの。）

(2) 出願書類の提出

在学校等の校長は、出願先の校長に出願者の入学願書及び写真を送付するときは、併せて、出願先の校長の定める個人調査書を作成し、提出すること。

4. 出願期間

令和5年（2023年）1月5日（木）から同月19日（木）正午までとする。

5. 出願先及び受検会場

出願先及び受検会場は、次のとおりとする。

学校名	所在地及び電話番号
北海道高等聾学校	〒047-0261 小樽市銭函1丁目5番1号 TEL (0134) 62-2708（職員室）62-2624（事務室） FAX (0134) 62-2625（職員室）62-2663（事務室）

6. 選考検査及び合格発表の期日等

(1) 選考検査及び合格発表の期日は、次のとおりとする。

なお、合格者の発表は、合格者の受検番号を5に掲げる受検会場に掲示するとともに、本人に通知する。

学校名	選考検査の期日及び時間	合格発表の期日及び時間
北海道高等聾学校	令和5年1月27日（金） 午前9時から面接終了まで ※受付は、午前8時30分から 午前8時45分まで。	令和5年2月15日（水） 午前10時 （本校生徒玄関ホール）

(2) インフルエンザ等により本検査を受検できない者は、令和4年2月7日（火）に選考検査を実施する。
その場合は、本検査と異なる問題を実施する。

7. 入学者の選考方法

入学者の選考に当たっては、次の選考検査の結果及び個人調査書を総合的に評価し、選考する。なお、第1希望の学科の定員を満たした場合は、第2あるいは第3希望になる場合がある。

(1) 学力検査

ア 普通科重複障害学級を除く学級
国語、数学、理科、社会、英語

イ 普通科重複障害学級
国語、数学 *作業能力に関する検査も行なう。

(2) 面接

生徒面接及び保護者面接を行う。

8. 第2次募集

(1) 合格者の数が募集人員に達しないときは、第2次募集を行う。

(2) 募集人員の発表の期日等は、次のとおりとする。

学校名	期日	場所
北海道高等聾学校	令和5年2月17日（金）	・北海道高等聾学校 ・北海道教育庁学校教育局 特別支援教育課

(3) 出願資格

2による出願資格と同様とする。ただし、当初の入学募集において合格している者（合格者で入学しない旨の意思表示があった者を含む。）の出願は認めない。

(4) 出願できる学科

(2)により募集人員を発表した学科。

(5) 出願手続き

3に定めるところによる。

(6) 出願期間

令和5年（2023年）2月17日（金）から同年3月2日（木）正午までとする。

(7) 受検会場

北海道高等聾学校

(8) 選考検査及び合格発表の期日等

選考検査 令和5年3月 6日（月）

合格発表 令和5年3月 9日（木）午前10時

合格者の発表は、6に定める方法による。

(9) 入学者の選考方法

7に定めるところによる。

(10) その他

第2次募集の合格発表後、合格者の数が募集人員に達しない場合において、入学希望者（本校の第2次募集において合格しなかった者に限る。）がある場合、校長は令和5年（2023年）3月17日（金）までの間に選考の上、入学させることができる。

9. 選考検査の結果に関する口頭による開示

受検生又はその保護者は、選考検査の結果について、口頭による開示請求を行うことができる。

(1) 開示の方法

開示を希望する者は、北海道高等聾学校に口頭で申し出る。

(2) 開示期間

合格発表の日の翌日から14日間

〔問合せの受付は、土曜日、日曜日、祝日を除く9：00～16：30とする〕

・第1次選考検査 2月16日（木）～3月 1日（水）

・第2次募集 3月10日（金）～3月23日（木）

10. 道外からの出願手続

(1) 出願できる場合

保護者の住所が道外に在り、令和5年（2023年）4月7日（金）までに道内に住居を移転することが確実なとき。

(2) 出願手続

3の定めるところによるが、併せて、出願事情を説明した書類を提出するものとする。

(3) 出願期間

4に定めるところによる。なお、第2次募集にあつては、8の（6）に定めるところによる。

11. その他

(1) 入学者のうち、通学困難な者は、寄宿舍に入舎することができる。

入学日・入舎日については、後日連絡する。

(2) 受検料は徴収しない。

2. 各学科について

(1) 普通科

ア 学習内容

本学科は、義務教育の基礎の上に立ち、社会人として必要な一般教養を身に付け、社会への適応力を養うとともに、より専門的な学習に対応できる学力を身につけることを目標としています。日々の授業を通し受験に対応できるよう学力向上と自立を目指して、進学後や就職後を見据えた「幅広い学習活動」を行っています。

イ 資格の取得

各種検定＜国語・英語・数学＞

過去5年間の検定合格者数（普通科以外の生徒を含む）

	2 級	準 2 級	3 級	4 級	(他) 級
日本漢字能力検定	5	8	2 6	1 9	2 5
日本語検定	0	0	2	2	6
実用英語技能検定	3	8	1 8	9	3
実用数学技能検定	1	4	2	0	0

※日本語検定は平成27年度から実施しています。

ウ 卒業生の進路

進学希望の生徒は、道内外の国公立大学・私立大学、専門学校、本校専攻科などに進学しています。また就職希望の生徒も、主に道内や本州の企業に就職しています。

(2) 普通科重複学級

普通科重複学級では、生徒の基本的な生活習慣の確立、コミュニケーション能力の向上、社会生活に必要な基礎的な知識や技能の育成を目標として他障がいや併せもつ生徒たちが学習しています。

生徒たちは「国語」、「数学」、「情報」、「体育」、「クリーニング実習」、「生活単元学習」、「作業学習」、「日常生活の指導」などの学習に取り組んでいます。「生活単元学習」では、各教科や領域・教科を合わせた指導の内容を含め、生活や経験から学ぶことを基本に広い範囲の学習をしています。「作業学習」では、栽培、食品加工、手工芸、流通サービス・農業に関わる作業を中心に、卒業後の働く力を高める学習をしています。また「自立活動」、「ホームルーム」等は、同学年の生徒と学習をしています。生徒の実態に合わせた学習をすること、集団活動を大切にすること、体験的な学習を多く取り入れることなどを重点に学習を計画しています。

普通科重複学級の学びについての詳細は、本校ホームページ「重複のしおり 2023 年度版」にてご覧いただけます。また、しおりを冊子でご覧になりたい場合はご郵送いたしますので、御連絡ください。

お問い合わせ：北海道高等聾学校 本科普通科 重複学級

担 当 高澤裕美

Tel 0134-62-2624

(3) クリーニング科

クリーニング科では、3年間でクリーニングに関する知識や技術を身に付けさせると共に、卒業後の社会生活に必要な態度の育成にも力を入れています。また、クリーニング師国家試験合格を目指し、資格が取れるように個々の能力に合わせたきめの細かい指導に配慮しています。

生徒一人一人の実態に合わせて学習内容や教材を精選し、「できる」「分かる」を大切に指導を行っています。生徒が成功体験を積み重ねることで、自己肯定感や自己有用感を得て、主体的に学びに参加できることが、クリーニング科の特色です。

卒業後の進路についても、進学、一般就労、福祉的就労といろいろなケースを考え、保護者等や学級担任、寄宿舎指導員と協力しながら進路実現に向け進めていきます。

ア 学習内容

一般教科・科目と、クリーニング関連の専門科目を学習します。クリーニング関連の専門科目は次のとおりです。

「クリーニング理論」～汚れが落ちる仕組み、機械操作等の学習

「クリーニング法規」～クリーニング業に関する法律等の学習

「公衆衛生」～病気の予防や環境保全等の学習

「繊維」～いろいろな繊維素材の特性等の学習

「クリーニング実習」～仕上げの知識とアイロン操作技術等を学習

イ 資格の取得

クリーニング師免許証



絨毯洗い



ワイシャツのアイロン仕上げ

(4) 産業技術科

産業技術科では、主に木材・金属などの材料を使った「ものづくり」や、製図、電子機械、コンピュータを使った情報技術などを、実技を通して学びます。さらに、「ものづくり」に必要な心構え・知識・技能の習得を目指します。「ものづくり」は楽しく、頭脳を活性化させます。製品を完成させた時の喜びを感じ、「ものづくり」の新しい時代を担う人材になってほしいと思います。

ア 学習内容

工業的な内容を次のような専門科目で学習します。

「工業技術基礎」～ものづくりの基礎（木材・金属加工の基礎や電気基礎）を学習します。

「実習」～主に木材・金属を使った製品の製作を通して知識・技能・働く上での態度を学習します。

「課題研究」～実習と関連した題材の中で、自分で課題を設定して学習します。

「製図」～図面を描くための技能や方法を学びます。

「選択科目」～自分の進路や興味に併せて学習を選びます。自動車や機械の仕組みを学ぶ「メカニカルシステム」、電子回路やプログラミングなどを学ぶ「電子機械」、設計から加工までを学ぶ「クラフト工芸」などの科目があります。

「就業体験」～実際の工場へ通い、社会体験を積みます。



リビングボードの製作

実技中心の学習のため、体を動かしながらわかりやすく学習できますが、四則演算を解いたり、漢字表記の工程を読解したりする基礎学力と、工作機械・工具を扱うため一人でも安全に作業できる理解力が求

められます。また、実習・実技を通して、指示理解、連絡・報告・相談、コミュニケーション、主体的に探求できる力の育成も目指しています。

イ 資格の取得

在学中の専門科目学習で取得可能な資格は次のようなものがあります。

- ・ ガス溶接技能講習修了証
- ・ アーク溶接特別安全衛生教育修了証
- ・ トレース技能検定3級、4級など

ウ 卒業生の進路先

当学科の卒業生の進路は、卒業してすぐ職に就いたり、本校の専攻科などに進学し、その後、職に就いたりするなど様々です。当学科の卒業生のほとんどが工業関係の分野で活躍しています。

(5) 生活情報科

生活（衣・食・住・保育など）およびデータ作成についての基礎から専門的な知識・技術を実習等の体験的な活動を積極的に取り入れ、無理なく生徒一人一人の実態に応じた指導をしています。生活に関わる広範囲な領域を生徒の実態に合わせた様々な実技を積み重ね、自分らしい人生設計と自立した社会生活に適應できる力の育成を目指しています。また、多くの生徒が各種検定や資格取得を目標に日々積極的に学習に取り組んでいます。

ア 学習内容（学科の専門科目）

「生活産業基礎」～社会福祉施設訪問や実習を通し多様化する「生活産業」に求められる基本的な技能・知識について学習します。

「フードデザイン」～食品の栄養、献立、調理からテーブルコーディネートまで食生活を総合的に学習します。

「課題研究」～それまで専門科目で学んだことを基盤に、各領域における課題を各自設定しその課題解決学習を進めていきます。

「ファッション造形基礎」～日常着や服飾雑貨などの製作を計画的に進め、基礎的知識と技術の向上を図ります。

「生活産業情報」～生活関連分野で活用できるよう、コンピュータのさまざまな機能や情報発信のための知識と技術を学習します。

「生活産業情報演習」～表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェア、情報通信ネットワークなどを活用したビジネス情報処理の基礎を学習します。

「子どもの発達と保育」～子どもの発達の特性や保育にかかわる知識や技術について実践的に学習します。

「ソフトウェア活用」～ソフトウェアを含むICTを効果的に活用する力を身に付けるため、企業活動や社会と関連付けて体系的に学習します。

「情報処理」～情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させるとともに情報を主体的に活用する基礎的知識や技能を学習します。

「簿記」～企業の経営活動における財産の状態などを帳簿に記録・計算・整理する技術を学びます。

		
「生活産業基礎」 介護の施設見学会への参加	「課題研究」 社会人としてのマナー	「フードデザイン」 食物調理検定合格を目指す

イ 主な取得可能な資格

- | | |
|-------------------|--|
| ①全国高等学校家庭科教育振興会主催 | 食物調理技術検定、被服製作技術検定3・4級 |
| ②全国経理教育協会主催 | 簿記能力検定 |
| ③日本情報処理検定協会主催 | 日本語ワープロ・表計算・文書デザイン・ホームページ作成
プレゼンテーション作成1～4級 |

3. 生徒会の活動と部活動

生徒会行事は「新入生歓迎会」「生徒総会」「高豊祭」「スポーツ大会」「予餞会」などです。特に7月に行われる「高豊祭」は最大の行事です。学年パフォーマンス、作品展示、模擬店等、内容も豊富で早くから準備に取りかかります。これらの行事の企画・運営は生徒会役員や実行委員会でおこない、生徒の意見を積極的に取り入れるようにしています。本校に入学すると、すべての生徒は生徒会の会員になります。みなさんも入学後は充実した学校生活を送るために積極的に生徒会活動を盛り上げていきましょう。

(1) 部活動の概要

部活動は任意加入です。顧問の先生の指導を受けて、生徒が自主的・主体的に活動しており、高体連(全国高等学校体育連盟)、高文連(高等学校文化連盟)や行事に参加しています。小樽・後志地区の代表となり、全道大会さらには全国大会に出場した先輩もいます。大会に参加するには日頃の学習態度や成績、生活態度も大切です。学習とともに、部活動も皆さんが力を出せる絶好の機会です。

現在活動している部・同好会は次の通りです。

- ◎サッカー部 ◎バドミントン部 ◎陸上競技部
◎美術部 ◎ものづくり研究同好会

(2) 各部の活動状況

ア サッカー部

普段の練習では、お互いにコミュニケーションをとりながら、サッカーの技術だけではなく、体力や精神力向上を目標に取り組んでいます。また、マナーや礼儀も重んじながら活動をしています。部員は8名ですが、月～金曜日までの練習、各大会参加に向け日々練習に励んでいます。

イ バドミントン部

活動はほぼ毎日体育館を使うことができ、部員12名で充実した活動をしております。全員がコートを使った練習ができていますので、1年生からたくさんのシャトルを打つことができます。年間の試合数も多く、昨年度は4回の公式戦に出場しています。選手自身が目標意識をもち、日々積極的に練習に取り組んでいます。自分に厳しく、仲間を大切にし、試合で1勝を目標に練習に励んでいます。

ウ 陸上競技部

陸上競技をととして、体力の向上や体を動かすことの楽しみを味わうと共に、全道大会を目指して取り組んでいます。令和4年度は、釧路市で行われた全道大会に砲丸投げで参加してきました。夏期は、グラウンドで技術練習やランニングを中心にを行い、冬期間は、格技場で体幹トレーニングやウェイトトレーニングなどを行っています。また、今年度も全道大会を目指して取り組んでいきます。

エ 美術部

高文連大会や有島武郎青少年公募絵画展等の公募展での入選を目指した作品制作を中心に活動しています。例年、高文連支部大会では入賞者を出しており、全道大会へも出場しています。また、タブレットPCを活用したイラストや立体作品等の制作に取り組む部員もいます。また、美術系の大学に進学希望者においては、入試で必要となるデッサンの練習や技法研究等にも取り組んでいます。基礎・基本がしっかりと技術を身につけつつ、個性豊かに発想力が高められるよう、日々の活動に取り組んでいます。

オ ものづくり研究同好会

ものづくりに関連した興味関心事を、自分達で追求することを目的に設置された同好会です。自分の技術や目的に合った製作物を作ったり、機械の知識を深めたりします。現在は週1回活動しています。

4. 卒業生の進路状況

開校以来の卒業生総数は2,027名（本科卒業生1,689名、専攻科修了生338名）となります。

卒業生（修了生）の進路状況は以下の通りです。

過去5年間の主な進路先 ※専攻科含む		
就 職	道 外	トヨタ自動車株式会社 株式会社デンソー アイシンAW株式会社 豊田自動織機株式会社 アイシン精機株式会社
	道 内	トヨタ自動車北海道 北洋銀行 デンソー北海道 小野寺製作所 北海道エア・ウォーター いすゞエンジン製造北海道 エノ産業 健康倶楽部 北食 エム・エム・ピー スコレー ノムラプレカットファクトリー 帯広第一病院 遠軽厚生病院 函館渡辺病院 函館国際ホテル 井原水産 函館五稜郭病院 旭川赤十字病院
進 学	道 外	筑波技術大学 国立リハビリテーションセンター 筑波大学附属聴覚支援学校専攻科
	道 内	北海学園大学 北翔大学 北海道医療大学 北海道武蔵女子短期大学 釧路短期大学 吉田学園北海道福祉大学校 吉田学園自動車整備大学校 札幌医療秘書福祉専門学校 旭川福祉専門学校 帯広調理師専門学校 札幌ビューティーアート専門学校 北斗文化学園インターナショナル調理技術専門学校 北海道高等聾学校専攻科
福祉事業所		あかしあ学園 ほほえみ作業所 イノベイト キャリアエスコート 笑ころ 九神ファーム ビースマイル クビド・フェア クローバー 永光 まろにえ しほろほのぼのホーム 光生舎エルム・ソーイング 光生舎プラザ・イン・サッポロ

5. 奨学金について

本校に入学後、人物、学業、健康共に優れているにもかかわらず、学費の支弁が困難であると認められる生徒に対しては、次のような奨学金を希望できます。

奨学金は各団体によって募集人員、推薦基準、受給年数、給与か貸与かなどが異なります。志願者の成績や家庭の経済状況などの校内審査を経て各団体への推薦が決まります。

下表の推薦人数は令和4年度のもので、新年度については、各団体からの案内により決定致します。また、令和4年度と同じ団体からの募集があるとは限りません。

※④の奨学金は貸付されるもので、貸付される者は生徒本人となり、返還の義務があります。

無利子ですが、返還が遅れたときは延滞金が課せられます。

※①～③の複数団体から重複して奨学金を受給することはできません。また、団体の指定はできません。

※⑤のあしなが高校奨学金は中学在学中にも予約申請できます。（9月以降）

予約申請希望の場合は、在学している学校にお問い合わせください。

1. 奨学金の種類

団体名	金額	返済義務	条件等	推薦人数 (R 2)	受給期間
①道新 コスモス奨学金	月額5000円	なし		1人	1年間
②コープさっぽろ 社会福祉基金	月額10000円	なし	申込みは1年生のみ	1人	3年間
③小樽市奨学金	年額50000円	なし	保護者が小樽在住	なし	申込みから 卒業まで
④北海道 高等学校奨学会	(1) 月額10,000円 (2) 月額15,000円 (3) 月額20,000円 (4) 月額25,000円 の中から選択	あり 卒業後、 12年間で 分割返済	人物判定及び年収が基 準を満たしている者	制限なし	申込みから 卒業まで
⑤あしなが 高校奨学金	月額30000円	なし	保護者が病気や災害 (交通事故除く)などで死 別か障害認定を受けて いる者	制限なし	申込みから 卒業まで

2. 申込みから受給決定までの流れ

- (1) 校内審査・・・入学決定後、全御家庭に申込用紙をお配りしますので、希望者は所定年度の所得を証明するものを添えて、お申込みください。
成績や御家庭の経済状況等を考慮して、各団体への推薦者を決定します。
④⑤は校内審査はありません。
- (2) 団体審査・・・各団体が提出書類から考慮し受給の有無を決定します。
- (3) 採用通知・・・各団体から受給決定の案内が届き、奨学金が振り込まれるようになります。

3. 奨学金の運用について

本校では、各種奨学金の規定に従い口座振込を実施しております。また、学校の口座に送金されるものにつきましては、就学奨励費用の口座に振り込ませていただいております。ご理解とご協力をお願い致します。

入学生の所要経費一覧表・・・普通科

令和5年3月2日

1年普通科A組

保護者様

北海道高等聾学校長 須見 千 慶

令和5年度本科入学生諸経費について

早春の候、保護者等の皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

この度は合格おめでとうございます。教職員一同晴れて御入学の日を心待ちにしております。

さて、本校での教育活動に関わる本年度諸経費について、次のとおり納めていただきますよう御理解と御協力をお願い申し上げます。

記

1 学校納入金について

(1) 納入金等（内訳詳細は別紙「所要経費（1枚目）」、「同（2枚目）」を御覧ください。）

期	1年普通科A組	納入方法	納入期日	その他
前期 (入学式当日)	51,654 円	現金のみ	4月10日(月) 入学式当日9:30～	場所：本校1階多目的ホール 担当：本校事務職員
後期(10月)	18,240 円	口座引落	10月26日(木)	口座引落できない場合は、本校事務担当者まで御連絡ください。
年間納入金 (合計)	69,894 円			

(2) 「その他の経費」について

別添「2 その他の経費一覧」を御確認ください。

(3) その他

年度末決算後、残金を返金いたします。

2 業者に直接お支払いいただく諸費用について

◇ 同封の納入袋には、つり銭のないように現金をお入れください。

◇ 教材によって、納入期日等が異なります。次のとおり御確認ください。

教材名	業者名	代 金	納入期日等	備考
教科書	北海道教科書 供給会社	20,378 円	納入日時 4月10日(月) 9:30～	本校1階多目的ホール(※「学校納入金」窓口横) 教材は担任よりお子様にお渡しいたします。
体育ジャージ等	株式会社 ワタナベ	13,840 円	4月10日～28日 までの間に振込	同封の「体育着の購入について」を御覧ください。
美術教材	大丸藤井 セントラル	2,700 円	納入日時 4月10日(月) 9:30～	同封の「美術科教材について」を御覧ください。

3 その他

御不明な点がございましたら、学校までお問い合わせください。

電話 0134-62-2624 ・ファックス 0134-62-2663

所要経費内訳(1枚目)【普通科】

北海道高等聾学校

1 学校納入金

(単位 円)

◇ 納入担当者:学校事務職員

本校事務担当者へ	年度初め 納入金	共済掛金	1,930	日本スポーツ振興センター
		宿泊研修費	20,000	1学年6月実施予定
		就業体験費 ・保険料	10,000	6日間(事前挨拶と実習日5日間)の交通費と5日間の昼食費概算。保険料250円(インターンシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険)、実習ファイル代等雑費含む
		校章代	649	校章 1個
		社会見学昼食代	1,000	9月実施予定 詳細は別途お知らせいたします
		各種検査	1,275	田中B式知能テスト480円 リーディングテスト255円 学力検査 540円
		入学記念写真代	1,200	
		小計①	36,054	前期(入学式当日)に納入
	各種 会費・ 活動費等 (6ヶ月分)	PTA会費	2,400	月額400円 × 6ヶ月
		生徒会費	5,400	月額900円 × 6ヶ月
		教育活動費	7,800	月額1,300円 × 6ヶ月
		学習活動費	0	※1(次頁)を御参照ください
		必修科目「家庭基礎」 実習費	0	※2(次頁)を御参照ください
		学科実習費	0	※3(次頁)を御参照ください
		小計②	15,600	前期(入学式当日)・後期共に納入
	スキーリフト代③		2,640	後期に納入

(まとめ)学校納入金 前期分 ①+②= 51,654円

後期分 ②+③= 18,240円

年間合計 69,894円

入学生の所要経費一覧表・・・普通科重複学級

令和 5 年 3 月 2 日

1 年普通科重複学級 B 組
保護者 様

北海道高等聾学校長 須 見 千 慶

令和 5 年度本科入学生諸経費について

早春の候、保護者等の皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
この度は合格おめでとうございます。教職員一同晴れて御入学の日を心待ちにしております。
さて、本校での教育活動に関わる本年度諸経費について、次のとおり納めていただきますよう御理解と御協力をお願い申し上げます。

記

1 学校納入金について

(1) 納入金等 (内訳詳細は別紙「所要経費 (1 枚目)」、「同 (2 枚目)」を御覧ください。)

期	1 年普通科重複学級 B 組	納入方法	納入期日	その他
前期 (入学式当日)	60,529 円	現金のみ	4 月 10 日 (月) 入学式当日 9:30～	場所: 本校 1 階多目的ホール 担当: 本校事務職員
後期 (10 月)	27,840 円	口座引落	10 月 26 日 (木)	口座引落できない場合は、本校事務担当者まで御連絡ください。
年間納入金 (合計)	88,369 円			

(2) 「その他の経費」について

別添「2 その他の経費一覧」を御確認ください。

(3) その他

年度末決算後、残金を返金いたします。

2 業者に直接お支払いいただく諸費用について

◇ 同封の納入袋には、つり銭のないように現金をお入れください。

◇ 教材によって、納入期日等が異なります。次のとおり御確認ください。

教材名	業者名	代 金	納入期日等	備考
体育ジャージ等	韓スポーツショップ ワタナベ	13,840 円	4 月 10 日～28 日 までの間に振込	同封の「体育着の購入について」を御覧ください。
作業着	北海道トンボ 株式会社	7,200 円	入学式に振込用紙 をお渡しします	入学後のオリエンテーションで採寸します

3 その他

御不明な点がございましたら、学校までお問い合わせください。

電話 0134-62-2624 ・ファックス 0134-62-2663

所要経費内訳(1枚目)【普通科重複学級】

北海道高等聾学校

1 学校納入金

(単位 円)

◇ 納入担当者:学校事務職員

本校事務担当者へ	年度初め 納入金	共済掛金	1,930	日本スポーツ振興センター
		宿泊研修費	20,000	1学年6月実施予定
		就業体験費 ・保険料	10,000	6日間(事前挨拶と実習日5日間)の交通費と5日間の昼食費概算。保険料250円(インターンシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険)、実習ファイル代等雑費含む
		校章代	649	校章 1個
		社会見学昼食代	1,000	9月実施予定 詳細は別途お知らせいたします
		各種検査	550	SM社会能力検査
		入学記念写真代	1,200	
		小計①	35,329	前期(入学式当日)に納入
	各種 会費・ 活動費等 (6ヶ月分)	PTA会費	2,400	月額400円 × 6ヶ月
		生徒会費	5,400	月額900円 × 6ヶ月
		教育活動費	7,800	月額1,300円 × 6ヶ月
		学習活動費	9,600	※1(次頁)を御参照ください
		必修科目「家庭基礎」 実習費	0	※2(次頁)を御参照ください
		学科実習費	0	※3(次頁)を御参照ください
		小計②	25,200	前期(入学式当日)・後期共に納入
	スキーリフト代③		2,640	後期に納入

(まとめ)学校納入金 前期分 ①+②= 60,529円

後期分 ②+③= 27,840円

年間合計 88,369円

入学生の所要経費一覧表・・・クリーニング科（令和4年度）

令和4年3月4日

1年クリーニング科C組
し保護者様

北海道高等専門学校長 室 岡 弘 明

令和4年度本科入学生諸経費について

早春の候 保護者の皆様にはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は合格おめでとうございます。教職員一同晴れて御入学の日を心待ちにしております。

さて、本校では教育活動に関わる本年度諸経費について、次のとおり納めていただきますよう御理解と御協力を申し上げます。

記

1 学校納入金について

(1) 納入額等（内訳詳細は別紙「所要経費（1枚目）」、「同（2枚目）」を御覧ください）

期	1年クリーニング科C組	納入方法	納入期日	その他
前期 (4月入学式前日)	53,294円	現金のみ	4月8日(金) 入学式当日9:30～	※本校1階多目的ホールにて 担当:本校事務職員
後期(10月)	20,040円	口座引落	10月24日(月)	※口座引落出来ない方は 事前に本校事務担当者までご連絡ください
年間納入額 (合計)	73,334円			

(2) 「その他の経費」について

別添「2 その他の所要経費一覧」を御確認ください。

(3) その他

年度末決算後、残金を返金致します。

2 業者に直接お支払いいただく諸費用について

◇ 同封の納入袋には、つり銭のないよう現金をお入れください。

◇ 教材によって、納入期日等が異なります。次のとおり御確認ください。

教材名	業者名	代金	納入期日等	備 考
体育ジャージ等	(株)なぐさワタナベ	13,840円	取り扱い店にて 採寸・注文締切 3月21日(月)	令和4年3月21日(月)までに取り扱い店にて サイズを合わせて頂き、直接取り扱い店 に代金の支払い、または振込をしてください
美術教材	大丸藤井 センター	2,700円	支払期日: 3月22日(火)	同封の振込用紙にてお支払いください。 教材引渡は授業にてお渡しいたします。
北海道教科書 供給会社	北海道教科書 供給会社	22,505円	納入日時 4月8日(金) 9:30～	本校1階(※「学校納入室」窓口横) ※同封の納入袋につり銭のないよう現金を お入れ下さい。 ※数量は担任よりお子様へ配布いたします
作業着	北海道トンボ株式 会社	6,700円	入学式に振込用紙 お渡します。	入学後のオリエンテーションで採寸しま す。

3 その他

御不明な点がございましたら、本校担当者までお問い合わせください。

担当 教務部 遠田

電話 0134-62-2624 ・ ファックス 0134-62-2663

所要経費内訳(1枚目)【クリーニング科】

北海道高等聾学校

1 学校納入金

(単位 円)

◇ 納入担当者:学校事務職員

本校事務担当者へ	年度初め 納入金	共済掛金	1,930	日本スポーツ振興センター
		宿泊研修費	20,000	1学年6月実施予定
		就業体験費 ・保険料	10,000	6日間(事前挨拶と実習日5日間)の交通費と5日間の昼食費概算。保険料250円(インターンシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険)、実習ファイル代等雑費含む
		校章代	649	校章 1個
		社会見学昼食代	1,000	9月実施予定 詳細は別途お知らせいたします
		各種検査	1,215	田中B式知能テスト460円 リーディングテスト245円 学力検査 510円
		入学記念写真代	1,100	撮影担当 奈良写真館
		小計①	35,894	前期(入学式当日)に納入
	各種 会費・ 活動費等 (6ヶ月分)	PTA会費	2,400	月額400円 ×6ヶ月
		生徒会費	5,400	月額900円 ×6ヶ月
		教育活動費	7,800	月額1,300円 ×6ヶ月
		学習活動費	0	※1(次頁)をご参照ください
		必修科目「家庭基礎」 実習費	1,800	※2(次頁)をご参照ください
		学科実習費	0	※3(次頁)をご参照ください
		小計②	17,400	前(入学式当日)・後期共に納入
	スキーリフト代③		2,640	後期に納入

(まとめ)学校納入金 前期分 ①+②= 53,294円

後期分 ②+③= 20,040円

年間合計 73,334円

入学生の所要経費一覧表・・・産業技術科

令和 5 年 3 月 2 日

1 年産業技術科 D 組

保護者 様

北海道高等学校校長 須 見 千 慶

令和 5 年度本科入学生諸経費について

早春の候、保護者等の皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
この度は合格おめでとうございます。教職員一同晴れて御入学の日を心待ちにしております。
さて、本校での教育活動に関わる本年度諸経費について、次のとおり納めていただきますよう御理解と御協力をお願い申し上げます。

記

1 学校納入金について

(1) 納入金等（内訳詳細は別紙「所要経費（1 枚目）」、「同（2 枚目）」を御覧ください。）

期	1 年産業技術科 D 組	納入方法	納入期日	その他
前期 (入学式当日)	60,654 円	現金のみ	4 月 10 日 (月) 入学式当日 9:30～	場所：本校 1 階多目的ホール 担当：本校事務職員
後期 (10 月)	27,240 円	口座引落	10 月 26 日 (木)	口座引落できない場合は、本校事務担当者まで御連絡ください。
年間納入金 (合計)	87,894 円			

(2) 「その他の経費」について

別添「2 その他の経費一覧」を御確認ください。

(3) その他

年度末決算後、残金を返金いたします。

2 業者に直接お支払いいただく諸費用について

◇ 同封の納入袋には、つり銭のないように現金をお入れください。

◇ 教材によって、納入期日等が異なります。次のとおり御確認ください。

教材名	業者名	代 金	納入期日等	備考
教科書	北海道教科書 供給会社	21,540 円	納入日時 4 月 10 日 (月) 9:30～	本校 1 階多目的ホール (※「学校納入金」窓口横) 教材は担任よりお子様にお渡しいたします。
体育ジャージ等	機スポーツショップ ワタナベ	13,840 円	4 月 10 日～28 日 までの間に振込	同封の「体育着の購入について」を御覧ください。
美術教材	大丸藤井 セントラル	2,700 円	納入日時 4 月 10 日 (月) 9:30～	同封の「美術科教材について」を御覧ください。
安全靴・革手袋 保護メガネ	和商株式会社	9,990 円	入学式に振込用紙 をお渡しします。	入学後オリエンテーションでサイズ確認 します。
作業着	北海道トンボ 株式会社	11,400 円	入学式に振込用紙 をお渡しします。	入学後のオリエンテーションで採寸しま す。

3 その他

御不明な点がございましたら、学校までお問い合わせください。

電話 0134-62-2624 ・ファックス 0134-62-2663

所要経費内訳(1枚目)【普通科重複学級】

北海道高等聾学校

1 学校納入金

(単位 円)

◇ 納入担当者:学校事務職員

本校事務担当者へ	年度初め 納入金	共済掛金	1,930	日本スポーツ振興センター
		宿泊研修費	20,000	1学年6月実施予定
		就業体験費 ・保険料	10,000	6日間(事前挨拶と実習日5日間)の交通費と5日間の昼食費概算。保険料250円(インターンシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険)、実習ファイル代等雑費含む
		校章代	649	校章 1個
		社会見学昼食代	1,000	9月実施予定 詳細は別途お知らせいたします
		各種検査	550	SM社会能力検査
		入学記念写真代	1,200	
		小計①	35,329	前期(入学式当日)に納入
	各種 会費・ 活動費等 (6ヶ月分)	PTA会費	2,400	月額400円 × 6ヶ月
		生徒会費	5,400	月額900円 × 6ヶ月
		教育活動費	7,800	月額1,300円 × 6ヶ月
		学習活動費	9,600	※1(次頁)を御参照ください
		必修科目「家庭基礎」 実習費	0	※2(次頁)を御参照ください
		学科実習費	0	※3(次頁)を御参照ください
		小計②	25,200	前期(入学式当日)・後期共に納入
	スキーリフト代③		2,640	後期に納入

(まとめ)学校納入金 前期分 ①+②= 60,529円

後期分 ②+③= 27,840円

年間合計 88,369円

入学生の所要経費一覧表・・・生活情報科

令和5年3月2日

1年生活情報科E組

保護者様

北海道高等聾学校長 須見 千 慶

令和5年度本科入学生諸経費について

早春の候、保護者等の皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
この度は合格おめでとうございます。教職員一同晴れて御入学の日を心待ちにしております。
さて、本校での教育活動に関わる本年度諸経費について、次のとおり納めていただきますよう御理解と御協力をお願い申し上げます。

記

1 学校納入金について

(1) 納入金等（内訳詳細は別紙「所要経費（1枚目）」、「同（2枚目）」を御覧ください。）

期	1年生活情報科E組	納入方法	納入期日	その他
前期 (入学式当日)	56,154 円	現金のみ	4月10日(月) 入学式当日9:30～	場所：本校1階多目的ホール 担当：本校事務職員
後期(10月)	22,740 円	口座引落	10月26日(木)	口座引落できない場合は、本校事務担当者まで御連絡ください。
年間納入金 (合計)	78,894 円			

(2) 「その他の経費」について

別添「2 その他の経費一覧」を御確認ください。

(3) その他

年度末決算後、残金を返金いたします。

2 業者に直接お支払いいただく諸費用について

◇ 同封の納入袋には、つり銭のないように現金をお入れください。

◇ 教材によって、納入期日等が異なります。次のとおり御確認ください。

教材名	業者名	代 金	納入期日等	備考
教科書	北海道教科書 供給会社	20,790 円	納入日時 4月10日(月) 9:30～	本校1階多目的ホール(※「学校納入金」窓口横) 教材は担任よりお子様にお渡しいたします。
体育ジャージ等	徳スポーツショップ ワタナベ	13,840 円	4月10日～28日 までの間に振込	同封の「体育着の購入について」を御覧ください。
美術教材	大丸藤井 セントラル	2,700 円	納入日時 4月10日(月) 9:30～	同封の「美術科教材について」を御覧ください。

3 その他

御不明な点がございましたら、学校までお問い合わせください。

電話 0134-62-2624 ・ファックス 0134-62-2663

所要経費内訳(1枚目)【普通科重複学級】

北海道高等聾学校

1 学校納入金

(単位 円)

◇ 納入担当者:学校事務職員

本校事務担当者へ	年度初め 納入金	共済掛金	1,930	日本スポーツ振興センター
		宿泊研修費	20,000	1学年6月実施予定
		就業体験費 ・保険料	10,000	6日間(事前挨拶と実習日5日間)の交通費と5日間の昼食費概算。保険料250円(インターンシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険)、実習ファイル代等雑費含む
		校章代	649	校章 1個
		社会見学昼食代	1,000	9月実施予定 詳細は別途お知らせいたします
		各種検査	550	SM社会能力検査
		入学記念写真代	1,200	
		小計①	35,329	前期(入学式当日)に納入
	各種 会費・ 活動費等 (6ヶ月分)	PTA会費	2,400	月額400円 × 6ヶ月
		生徒会費	5,400	月額900円 × 6ヶ月
		教育活動費	7,800	月額1,300円 × 6ヶ月
		学習活動費	9,600	※1(次頁)を御参照ください
		必修科目「家庭基礎」 実習費	0	※2(次頁)を御参照ください
		学科実習費	0	※3(次頁)を御参照ください
		小計②	25,200	前期(入学式当日)・後期共に納入
	スキーリフト代③		2,640	後期に納入

(まとめ)学校納入金 前期分 ①+②= 60,529円

後期分 ②+③= 27,840円

年間合計 88,369円

入学生の所要経費一覧表・・・全学科共通

新入生

所要経費内訳(2枚目)

「1学校納入金」※印について

(所要経費内訳(2枚目))

	徴収項目名	該当学科	徴収費内容
※1	学習活動費	普通科重複学級	月額1,600円×6ヶ月＝9,600円 ※年間必要経費19,200円 【年間の内訳】 「生活単元学習(校外学習・教材等) 13,500円 作業学習・教科教材等 5,700円
※2	必修科目 「家庭基礎」 実習費	産業技術科 クリーニング科	300円(一ヶ月分)×6ヶ月＝1,800円 ※年間必要経費3,600円 【年間の内訳】 ファイル 300円 衣生活領域実習費 2,100円(700円×3回) 食生活領域実習費 1,200円(300円×4回)
※3	学科実習費	産業技術科	1,200円(一ヶ月分)×6ヶ月＝7,200円 ※年間必要経費 14,400円 【年間の内訳】 テスターキット・ファイル代 3,800円 木工材料 4,300円 金工材料 6,300円
		生活情報科	〔家庭基礎〕 1ヶ月500円×6ヶ月＝3,000円 ※年間必要経費 6,000円 【年間の内訳】 ファイル 300円 衣生活領域2,100円(700円×3回) 食生活領域 1,200円(300円×4回) エプロン・三角巾 2,400円(3年間使用) 〔生活産業基礎〕 1ヶ月250円×6ヶ月＝ 1,500円 ※年間必要経費 3,000円 【年間の内訳】 ファイル 300円 家庭生活領域 500×3回 1,500円 住生活領域 400×3回 1,200円

2 その他の所要経費一覧

(1) 各種検定の必要経費について(すべて希望する場合のみ別途徴収いたします。)

項 目	金 額	備 考
漢字検定	1,500円/10～8級 2,000円/7～5級 2,500円/4～準2級 3,500円/2級	年3回(希望者のみ)
日本語検定	1,700円/7～5級 2,100円/4級 3,500円/3級 4,900円/2級	年2回(希望者のみ)
数学検定	3,000円/4級 3,500円/3級 4,000円/準2級	年2回(希望者のみ)
英語検定	2,500円/5級 2,900円/4級 4,700円/3級 5,700円/準2級 6,400円/2級	年3回(希望者のみ)
日本語ワープロ検定	1,500円/4級 1,900円/3級 2,100円/準2級 2,300円/2級 2,500円/準1級 2,700円/1級	年4回(希望者のみ)
表計算検定	1,500円/4級 1,900円/3級 2,100円/準2 2,300円/2級 2,500円/準1 2,700円/1級	年4回(希望者のみ)
パソコンスピード 認定検定	1,300円	年4回(希望者のみ)
文書デザイン検定	1,500円/4級 1,900円/3級 2,300円/2級 2,700円/1級	年4回(希望者のみ)
プレゼンテーション 検定	1,500円/4級 1,900円/3級 2,300円/2級 2,700円/1級	年4回(希望者のみ)
ホームページ作成検定	1,500円/4級 1,900円/3級 2,300円/2級 2,700円/1級	年4回(希望者のみ)
毎日パソコン入力 検定	1,060円/和文・英文 750円/ローマ字・数字	年3回(希望者のみ)
パソコン検定	1,530円/4級 2,040円/3級	随時(希望者のみ)
全商ビジネス文書 実務検定	1,500円/4級 1,700円/3級 1,900円/2級 2,000円/1級	年2回(希望者のみ)
全商電卓 実務検定	1,000円/4・3・2・1級	年2回(希望者のみ)
全商情報 処理検定	1,300円/3級 1,500円/2級 1,800円/1級	年2回(希望者のみ)
全経社会人常識 マナー検定	2,200円/3級 2,700円/2級 4,200円/1級	年6回(希望者のみ)

(2) 学校給食費・寄宿舎食費について

① 学校給食費

区 分	単価	1ヶ月分(ご負担額)
第1区分	学校給食 330円	自己負担なし
第2区分		単価×食数の半額(3,500円程度)
第3区分		単価×食数の全額(7,000円程度)

② 寄宿舎食費

区 分	単価	1ヶ月分(ご負担額)
第1区分	朝食230円 昼食310円 夕食370円	自己負担なし(下記 ※参照)
第2区分		単価×食数の半額(下記 ※参照)
第3区分		単価×食数の全額

※物価の変動により単価を変更する場合がございますので、御了承ください。

*「第1区分」・「第2区分」の支給内容について

	支 給 内 容	備 考
第1区分	全額を就学奨励費で支給	支給限度額(139,750円)を超えた分は自己負担
第2区分	半額を就学奨励費で支給	支給限度額(69,875円)を超えた分は全額自己負担

※ 納入方法、金額につきましては別途お知らせいたします。

※ 単価が変更になりましたらお知らせします。

※ 新年度に就学奨励費の支給限度額が改正される場合もあります。

(3) その他の所要経費について

次の経費につきましては、詳細を別途お知らせ致します。

項 目	金 額 (予定)	徴収(案内)時期	支払い方法 (支払先)
卒業アルバム代	15,000円	3学年在籍時	業者宛て振込(業者宛)
見学旅行費用	150,000円	1～2学年在籍時	業者宛て振込(業者宛)

令和05年度 北海道高等聾学校年間行事予定

年間行事予定（4月時点）

[illegible]